



第 352号
令和6年9月13日発行
山梨県立中央高等学校
通信制課程
甲府市飯田五丁目6-23
電話(055)226-4412
<http://www.kai.ed.jp/chuouh/>

第54回校内生活体験発表会(8月25・26日)

今年度は普通科03生1名、普通科04生2名、衛生看護科生1名が参加しました。厳正な審査の結果、衛生看護科生1名が最優秀賞を受賞しました。また、優秀賞を受賞した生徒のうち普通科04生1名が代表として選ばれました。その他の生徒の発表も素晴らしい内容でした。

〈最優秀賞〉

「63歳の私がここに来た理由」

衛生看護科生

関東地区高等学校通信制教育研究会生活体験発表会 出場予定

昭和50年3月、私は中学校を卒業しました。甲府看護専門学校准看護学科に合格と同時に、中央高校衛生看護科に入學しました。

水曜日は中央高校に登校し、それ以外の日は甲府看護専門学校に通学していました。学校に行く途中、自分と同じ歳の高校生をみては、うらやましくてどうしようもない気持ちでした。それは、私が中学校卒業と同時に家を出て、病院に住み込み、そこで仕事をしながら生活をしなければならなかったからです。楽しいとか、輝かしいという高校生活ではなかったからです。学校が終わったら病院での仕事です。手術の後片付けや、夜勤の看護師さんの手伝いをするため、家に帰れたのは、月2回だけでした。甲府看護専門学校を卒業し、准看護師の資格を取得した後、仕事になれてきたことで、看護師長さんより、夜勤を手伝うようお願いされました。その結果、中央高校を休みがちになるようになり、とうとう退学届をだしました。その時の先生は、「君は必ずまたこちらに来るはずだから、いつでも復学できるようにしておくよ。」とってくださいました。学校をやめてから、結婚、出産、子育て、親の介護を経験しました。やがて、私自身の身体が限界になりました。関節に障害があり、4度の手術をうけましたが、看護師としての仕事ができない身体になりました。

ある日ふとテレビを見ていると、親による子供の虐待やヤングケアラー、いじめなど、目を覆いたくなる問題が社会にあふれていることを知りました。いまこそ私は、これらの人たちに役立つことをしたい、看護師は無理だから、福祉関係の仕事がしたいと思いました。それで、大学で専門的な学習をするために、中央高校でもう一度、学習をしたいと思いました。いろいろな不安があり、入学願書を提出するまで2年かかりましたが、とうとう令和5年4月、中央高校通信制衛

生看護科に再入学することができました。最初は緊張と不安もありましたが、それよりも、学習ができる喜びと、もう一度高校生になれたという嬉しさの方が大きかったです。

しかし入学後は、使ったことのないICT機器での連絡に困惑したり、久しぶりのレポート学習に四苦八苦したりの毎日でした。予習、復習、レポート作成、科目によっては、音読課題もありました。ただそんな中、先生方や周りの生徒とお話することができました。思うように動けない私の身体をきづかってくれたのがすごくありがたかったです。心から感謝しています。

この学校には、いろいろな生徒がいます。私が最初に入學した40年前には、私と同じ勤労学生だけでなく、暴走族あがりの少年がいて、校庭を大型バイクで走る姿を目にしました。一人一人悩みがあり、それをどこにぶつけてよいかわからない人も多かった気がします。あらためて学校で生活してみて、今も昔も、内容が違いますが、いろいろな事情をもった人たちが来ているのだと思います。しかし、皆明るく、前を見て頑張っている姿を見ると、私も、頑張ろうと思えてくるのです。勉強でわからないところがあったり、うまく音読できなかつたりしたときは、もうやめようと何度も思いました。でも、そのたびに先生方やまわりの生徒からの励ましで「今度は逃げないぞ」と自分に激昂する毎日です。

今こうやって学校で学習して感じることは、学校生活を続けていくことや、入学することに、無駄なことはなにもない。あとから必ず、意味のあることにつながっていくのです。時間がたってから、私は、僕は、あの時負けない心でいたから、今があるのだと思う日々が必ず来ます。それをまず受け入れて、そして、自分の希望する道を進んでいくものだと思えます。

40年前に忘れてきた、楽しい高校生活も残り半年ほどになりました。先生方、これからも私たちに励ましの声をかけつけてください。多くの先生方や、同じ学ぶ生徒の励ましを受けながら、私自身、一日一日を大切に、自分自身の人格を磨き、誠実に生きていきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

〈優秀賞〉

「未来を切り拓くために」

普通科 04 生

山梨県定時制通信制高校教育祭出場予定

私は中学校の2年生の11月頃、適応障害で学校に行けなくなった。2年生の3学期と3年生は学校に行かないまま、卒業式を迎えた。もちろん修学旅行も行かなかった。自分の病気を治すには学校に行かないことが唯一の選択肢だと思ったので、高校への進学は全く頭になかった。

そんな折、担任の先生から「月に数回しか行かなくてもいい学校があるので、そこで学校生活に慣れてから普通の学校に行くのはどう？」と提案された。その時、月に数回程度なら耐えられると思い、イヤイヤではあるが承諾した。紆余曲折を経て、無事、中央高校通信制に入学することができた。

入学してまず驚いたのは、自分が思っていた以上に学校に行く回数が多かったことだ。また、通信制から全日制の高校への転入ができないことを知った。希望する学校へ出向いて話を聞いたが、一年遅れで受験して入学するように言われた。全日制の高校に転入できないことを知ったときは、中学の担任の先生に騙されたと思った。

学習に関して話をすると、入学当初は通信制の学習の仕組みがわからず、いくつかの失敗があった。「公共」の最終締め切りがあと3日という時に、それに気付いて大騒ぎで仕上げで学校に届けたことがあった。もしこの時、間に合っていなかったら、今に結び付いていないと思う。この失敗があったからは常に提出期限を意識するようになった。

私はこの学校で3年間での卒業を目指しているが、その理由は全日制高校に行けないのなら、せめて全日制高校の生活に近づけようと思ったからだ。2年生時には上限である29単位を修得した。特に英語コミュニケーションⅡと地理や歴史、政治経済などの暗記科目に苦戦した。しかし、やり切れたことへの達成感は大きかった。

次に学校生活に関して話をすると、通信制は登校日が少ないため、先生や友達とのコミュニケーションが希薄になりがちである。当初、私はみんなと共通の話題で盛り上がり、笑い、また悩みを分かち合える友達と友情を育んだり、そんな高校生活を思い描いていた。しかし実際には私の描いていた高校生活とはかけ離れたものであった。それでも、しばらくして、友達もでき共通の話題で心が通じ合えるようになった。友達ができただけでだんだん学校が楽しくなった。

私が中央高校で今日まで生活する中で、通信制で学ぶ上で気付いた三つの重要なことがある。それは「継続」と「やる気」と「コミュニケーション」だ。一つ目の継続は、レポートの提出や授業への出席を一年間を通してやり通すことだ。二つ目のやる気は、一つ目の継続を実践するために最も必要なことだ。やる気を出すには、人に言われて出せるものではないので、本人の気持ち次第だと思う。やる気を壊す原因を

作るのは周りの人の言葉だが、実際にやる気を壊す決断をするのは自分自身の心だと思う。三つ目のコミュニケーションは、中には苦手な人もいるかもしれないが「当たって砕ける」の気持ちで一歩を踏み出せばいいと思う。実際私もコミュニケーションはとても苦手だが、生徒会長として人前で話す機会を得たことで徐々に克服できつつある。

私は中学生の時、学校に行かなかった期間、意図せずではあったがインターネットで色々な人の考え方を学んだことで、今の自分があると思っている。自分は学校に行かなかったことを今でも後悔しているが、学校に行かなかったことで今の自分があるという矛盾もある。

私が今日まで頑張ってきたのは、中央高校の先生方のおかげだと思う。だれにでも分け隔てなく接してくれ、優しく言葉をかけてくれる。勉強で解からない所は個人的に良く指導してくれるので、難しい課題もどうにか克服できた。感謝しかない。また遠い河口湖町から学校まで送迎してくれる両親にも感謝したい。

ところで先月、県内の高校生が行政課題について提言する「高校生議会」が甲府市の県議会議事堂で開かれた。そこで私は、学校の代表として意見を提言する貴重な機会を得た。その中で私は、教育の機会均等の為、通信制課程でICTを活用した授業ができる環境の整備を求めた。

私は発表の後、地元テレビ局の記者から直接インタビューを受けた。突然のことで意見発表の時よりも緊張した。インタビューでは「今の政治に臨むことは？」と聞かれ、「若者が生きやすい環境を作りたい」と答えた。人生で一回あるかないかの素晴らしい経験になった。

残り少ない高校生活をいかに充実したものにするかが今の私の課題だ。在学中にやりたいことは、今の自分ができることを完璧でなくてもいいからやってみること、そして数年後の後悔が一つでも少なくなるように生活すること、将来やりたいことはまだはっきりとは決まっていないが、自分が楽しい、やって良かったと思えるものをたくさんの経験を元に見つけ出していきたい。



学習教室

パリオリンピックを見て

体育科 三森 茂樹

今年はパリオリンピックが開催されました。日本選手が活躍し、国際大会での過去最高のメダル数の獲得に感動していました。金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個です。

その中で山梨県関係者の活躍は覚えているでしょうか。各選手の戦績を思い出してください。

レスリンググレコローマンスタイル60kg級

文田健一郎選手

東京大会で銀メダルに終わり、その悔しさの中、今大会に挑みました。

卓球 平野美宇選手

東京大会では個人戦に出場できず団体戦で銀メダルでした。パリ大会では個人戦に出場しましたがメダル争いまで進むことができませんでした。

柔道女子57kg級 舟久保遥香選手

東京大会には出場することができなかった悔しさをばねにして出場しました。

サッカー 川崎颯太選手

甲府市出身の川崎選手は現在京都サンガF.C.に所属し活躍しています。オーバーエイジ枠を使わずに23歳以下の選手で構成された中、予選リーグを突破して決勝トーナメントへ進出しました。

水泳 鈴木聡美選手

初めてのロンドンオリンピックでは3つのメダルを獲得して、リオオリンピックでは準決勝敗退、東京オリンピックでは代表にも届きませんでした。33歳になり自己ベストを更新し、パリオリンピックでは100M、200Mに出場しました。

では、上記の選手の成績はどうだったか思い出してみてください。

各選手の活躍があってテレビ前から離れることができませんでした。暑い夏の夜、眠い目をこすりながら応援したことを覚えています。まだ他にも、いろいろな選手の活躍があったと思います。色々な試練を乗り越えて、代表になった選手の活躍は本当にすごいと思います。メダルを獲得することではなく、代表となり戦いに挑んでいく姿が誇らしく感じられました。選手の頑張りに拍手を送りたいと思います。

通信制の体育の時間は体を動かすことが今でも一番大事なことだと思います。少ない時間ですが、みんなが進んで取り組めるようにしていきたいと思います。体育の時間を楽しい時間にしましょう。

文田選手 金メダル 平野選手 団体銀メダル

舟久保選手 個人銅メダル 団体銀メダル

川崎選手 ベスト8

鈴木選手 200M 4位

「食」に関わることばクイズ（中級編）

家庭科 猪股 久美子

ことわざや慣用句の中には、「食」に関する事柄や語が使われていることが少なくありません。

さて、下の（ ）にあてはまる言葉は何でしょう？

① 秋（ ）は嫁に食わずな

秋にできる〇〇は美味しいから嫁には食べさせるなという、姑（しゅうとめ）から嫁への意地悪なことば。また、秋〇〇を食べると体が冷えて毒だから嫁には食べさせるなという、姑から嫁への思いやりのことばともいわれている。

② （ ）が赤くなれば医者は青くなる

〇〇が赤くなる秋は天候がよいので、体調を崩す人は少なく、医者は商売にならずに青ざめる、という意味。

③ （ ）を食う

冷たい扱いを受けること。

④ （ ）を食う

悪いことをして刑務所に入れられること。

⑤ （ ）を絞る

- ・あれこれと言葉で厳しく叱ったり責めたりする。
- ・できない問題や難問を出して力を厳しく試す。

⑥ （ ）が腐る

悪声や調子はずれな歌いぶりをからかって言う言葉。

⑦ （ ）に目鼻

色白でかわいらしい顔立ちのことをいい、主に、女性や子供についていう。

あなたはいくつできましたか？
上級編はまた次回。

答

①なす ②柿 ③冷や飯 ④臭い飯 ⑤油 ⑥糠みそ ⑦卵

(4)

告知板

教務係から

夏も終わりに近づき、今年度も後半に入ります。

『通信のしおり』に今一度目を通し、単位修得と卒業に向けて気持ちをあらたにしましょう。

◇総合的な探究の時間のレポート

レポートは9/30(月)締切です。3時間出席済みでレポート未提出の人は、早めに提出しましょう。

◇個別面接について

9月29日(日)30日(月)から個別面接が始まります。出席時数の少ない科目について計画的に利用するよう登校予定を考えましょう。

また今年度から水曜日にも個別面接が行われます。初回は10月2日(水)となります。予約制です。QRコードから申し込みできますが、電話などでも可能です。

◇特別活動について (『通信のしおり』P17)

学校行事などの合計出席時数と、清掃活動の参加回数について各自確認してください。

特に卒業予定生は、特別活動が卒業条件の一つです。前年度からの持ち越しのある生徒は、自分からHR担任に連絡を取って確実に進めてください。

◇教科書等給与費補助(『通信のしおり』P25)

1. 4月に教科書等を実費購入した人が、その後、一定の就業条件を満たして申請が認められれば、支払った一部代金について給与費補助を受けられます。

必要書類:配付中

申請締切:11月11日(月)午後5時

2. 令和7年度の履修登録をする際に一定の条件を満たして申請を認められれば、4月に教科書・学習書を無償でもらうことができます。

必要書類:11月中旬以降に配付の予定

申請締切:1月31日(金)午後5時

◇分室スクーリングについて

今年度の分室スクーリングは

10/19(土)・11/2(土)の残り2回です。

郡内地域在住生徒の出席を特に求めます。

個別面接ですから、出席時数を確認して上手に利用しましょう。

生徒指導係から

◇「危険ドラッグ」絶対ダメ!

「危険ドラッグ」の使用によって重大な犯罪や交通死亡事故が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。興味本位から手を染めるケースが多く、インターネットから入手することも増えていますが、他人を傷つけ、自分も廃人になってしまうかもしれません。「危険ドラッグ」を使用することは悲劇しか生み出しません。

「危険ドラッグ」一回の使用もダメ!

生徒会係から

◇第54回明窓祭[10/6(日)]について

今年度も昨年同様に午前中は体験教室と講演会を予定しています。事前に郵送で希望をとりました午前中の「絵本読み聞かせ体験」「ペーパークラフトによるかごの製作体験」は予約制となります。残念ながら抽選に漏れた生徒、参加申込書を提出しなかった生徒は講演会に参加することになります。明窓祭の内容等については7月下旬に体験教室参加希望調査と一緒に郵送しました。必ず確認してください。

【明窓祭前日 10/5(土)】

9:40 出席点呼

10:30~11:30 講演会第1部

【明窓祭当日 10/6(日)】

9:40 出席点呼・開祭式

9:55~10:25 展示見学・投票

10:30~12:00 「絵本読み聞かせ体験講習会」

「ペーパークラフトによる

かごの製作体験」

「講演会第2部」

のいずれか1つに参加

12:00~13:15 昼食

13:30~14:30 音楽を楽しむ会

14:45~15:30 閉祭式・片付け

今年度はご家族の入場は可能です。ただし、体験教室については材料等の関係で参加できません。また、前日の「講演会第1部」も入場できます。

◇令和6年度第72回定通教育祭

今年度も、YCC県民文化ホールで例年通りの内容で10月16日(水)の午後に実施する予定です。詳細については決まり次第連絡します。